

工学基礎実験実習 やさしいC言語 最終レポート

氏名：重近大智
学生番号：09501527

出題日：2019年7月9日
提出日：2019年7月16日
締切日：2019年7月23日

1 はじめに

本レポートでは，ニュートン法を用いて，与えられた4つの課題を解く．まず，ニュートン法の式を反復するC言語プログラムの作成方針を示す．次に，プログラムについて説明し，実験結果を示す．最後に考察とまとめを行う．一連のレポートは \LaTeX を用いて作成した．

2 プログラム作成方針

3 プログラムの説明

4 実験

課題で与えられた関数に関する図，また用いたC言語プログラムのソースはレポートの最後にまとめて表示する．

表 1: 1 つ目の方程式に関する反復回数と求められた解の近似値

反復回数	求められた解の近似値
1	1.1657479108
2	1.1449182997
3	1.1447299036
4	1.1447298858
5	1.1447298858

4.1 課題 1

課題 1 で与えられた方程式は次の 3 つである.

$$\sin e^x = 0 \quad (1)$$

$$x^3 - 3x - 2 = 0 \quad (2)$$

$$x^3 - x^2 - x + 1 = 0 \quad (3)$$

まず, 1 つ目の方程式 (式 1) について考える. 方程式の解は, $f(x) = \sin \pi = 0$ と考えると, $e^x = \pi$ となるから, $x = \log \pi$ が解である. 導関数は $f'(x) = e^x \cos e^x$ であるから, ニュートン法の反復式は次のようになる.

$$x_{k+1} = x_k - \frac{\sin e^{x_k}}{e^{x_k} \cos e^{x_k}} \quad (4)$$

初期値 x_0 を 1 とし, C 言語プログラムで式 4 の反復計算を行った. 結果を表 1 に示す.

次に, 2 つ目の方程式 (式 2) について考える. 方程式の解は, $f(x) = x^3 - 3x - 2 = 0$ と考えると, $x = -1$ が解の 1 つとなる.

導関数は $f'(x) = 3x^2 - 3$ であるから, ニュートン法の反復式は次のようになる.

$$x_{k+1} = x_k - \frac{x_k^3 - 3x_k - 2}{3x_k^2 - 3} \quad (5)$$

初期値 x_0 を -8 とし, C 言語プログラムで式 5 の反復計算を行った. 結果を表 2 に示す. ただし, 収束するまで回数を要したため, 最後の 5 回のみを表示する.

次に, 3 つ目の方程式 (式 3) について考える. 方程式の解は, $f(x) = x^3 - x^2 - x + 1 = 0$ と考えると, $x = 1$ が解の 1 つとなる.

導関数は $f'(x) = 3x^2 - 2x - 1$ であるから, ニュートン法の反復式は次のようになる.

$$x_{k+1} = x_k - \frac{x_k^3 - x_k^2 - x_k + 1}{3x_k^2 - 2x_k - 1} \quad (6)$$

表 2: 2 つ目の方程式に関する反復回数と求められた解の近似値

反復回数	求められた解の近似値
28	-1.0000000712
29	-1.0000000349
30	-1.0000000189
31	-1.0000000111
32	-1.0000000045

表 3: 3 つ目の方程式に関する反復回数と求められた解の近似値

反復回数	求められた解の近似値
27	1.0000001053
28	1.0000000527
29	1.0000000263
30	1.0000000132
31	1.0000000066

初期値 x_0 を 6 とし, C 言語プログラムで式 6 の反復計算を行った. 結果を表 3 に示す. ただし, 収束するまで回数を要したため, 最後の 5 回のみを表示する.

4.2 課題 2

課題 2 で与えられた方程式は次のとおりである.

$$x^3 - 2x - 5 = 0 \quad (7)$$

この方程式 (式 7) について考える. 導関数は, $f'(x) = 3x^2 - 2$ であるから, ニュートン法の反復式は次のようになる.

$$x_{k+1} = x_k - \frac{x_k^3 - 2x_k - 5}{3x_k^2 - 2} \quad (8)$$

課題 1 とは異なり, 初期値 x_0 は 0 と決められている. また, 収束の様子を詳しく調べるため, k , x_k , $f(x_k)$, および $f'(x_k)$ の値を表示する. このために, 課題 1 とは異なる C 言語プログラムを使用した.

5 プログラムの作成に関する考察

6 まとめ

参考文献

[1] Cox D.A., Little J. and O'Shea D., *Using Algebraic Geometry*, Springer, 2005.

[2] <http://mathworld.wolfram.com/NewtonsMethod.html>

7 課題で出題された関数の図

次のページにまとめている。

8 C言語プログラムのソース

課題1で用いたプログラムのソース (50行) これは、式4の反復計算に用いたプログラムだが、式5、式6の計算では、元の関数、導関数、初期値を変更して使用した。

```
1 /*
2   ニュートン法による方程式の解法
3
4   コンパイル方法: gcc -lm newton-method-1.c
5 */
6
7 #include <stdio.h>  /*printf を利用するのに必要*/
8 #include <math.h>   /*各種算術関数のために必要*/
9
10 /* f(x) = 0 の x を求める問題となる関数 */
11 double f(double x)
12 {
13     return sin(exp(x));
14 }
15
```

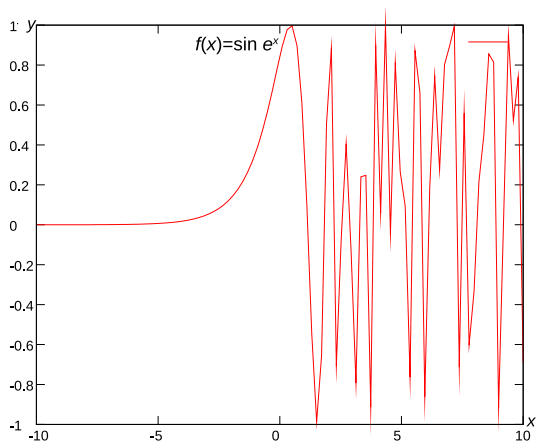


図 1: 式 1 の図

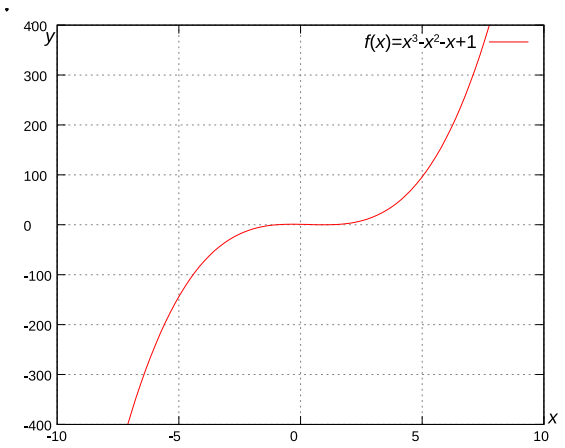


図 3: 式 3 の図

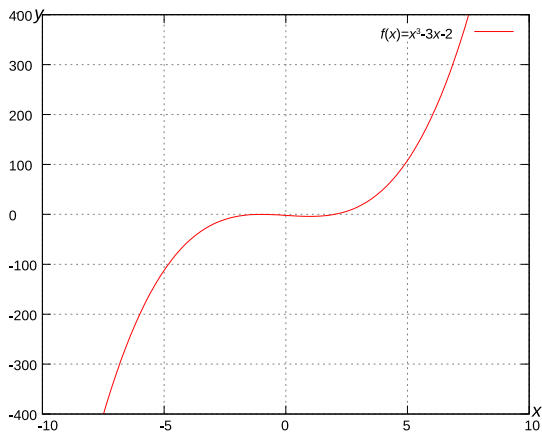


図 2: 式 2 の図

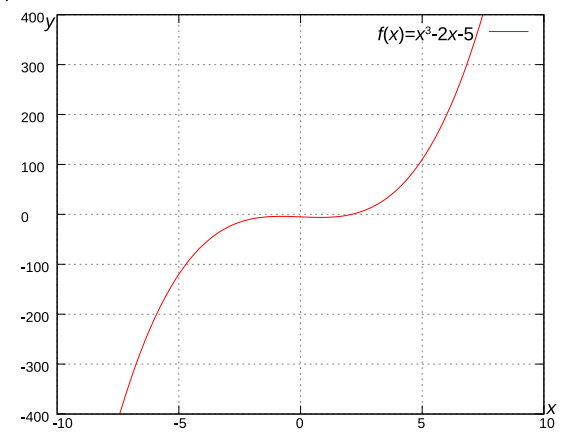


図 4: 式 7 の図

```

16 /* f の一次導関数*/
17 double f1(double x)
18 {
19     return exp(x) * cos(exp(x));
20 }
21
22 /* ニュートン法の繰り返し関数 */
23 double newton(double xk)
24 {
25     return xk - (f(xk) / f1(xk));
26 }
27
28 main()
29 {
30
31     /* 各種初期値設定 */
32     int n = 0;
33     double ans = log(3.1415926535897932384626433832795028841971
/* 繰り返し回数の初期値 */
6939937510582097494459); /* 真の x */
34     double delta = 3E-16;
35     /* 許容誤差 3E-16 */
36     double xk = 1;
37     /* 初期値 */
38     /* 開始メッセージを表示 */
39     printf("Newton method program start.\n");
40
41     /* fabs(x) ... x の絶対値を求める関数*/
42     while(fabs(f(xk)) > delta){ /* 収束条件 : f(x) が delta 以下に
なる */
43         n = n + 1;
44         xk = newton(xk);
45         printf("n:%d xk:%.10f f(xk):%.10f ans-xk:%.10f\n"

```

```
, n, xk, f(xk), ans - xk);
46     }
47
48     /* 終了メッセージを表示 */
49     printf("done.\n");
50 }
```

課題2で用いたプログラムのソース (49 行)

```
1 /*
2   ニュートン法による方程式の解法
3
4   コンパイル方法: gcc -lm newton-method-1.c
5 */
6
7 #include <stdio.h> /*printf を利用するのに必要*/
8 #include <math.h>  /*各種算術関数のために必要*/
9
10 /* f(x) = 0 の x を求める問題となる関数 */
11 double f(double x)
12 {
13     return x * x * x - 2 * x - 5;
14 }
15
16 /* f の一次導関数*/
17 double f1(double x)
18 {
19     return 3 * x * x - 2;
20 }
21
22 /* ニュートン法の繰り返し関数 */
23 double newton(double xk)
24 {
25     return xk - (f(xk) / f1(xk));
26 }
27
```

```

28 main()
29 {
30
31     /* 各種初期値設定 */
32     int n = 0;                /* 繰り返し回数の初期値 */
33     double delta = 3E-15; /* 許容誤差 3E-15 */
34
35     double xk = 0;           /* 初期値 */
36
37     /* 開始メッセージを表示 */
38     printf("Newton method program start.\n");
39
40     /* fabs(x) ... x の絶対値を求める関数*/
41     while(fabs(f(xk)) > delta){ /* 収束条件：f(x) が delta 以下に
なる */
42         n = n + 1;
43         xk = newton(xk);
44         printf("k:%d xk:%f f(xk):%f f'(xk):%f\n", n, xk, f(xk),
f1(xk));
45     }
46
47     /* 終了メッセージを表示 */
48     printf("done.\n");
49 }

```